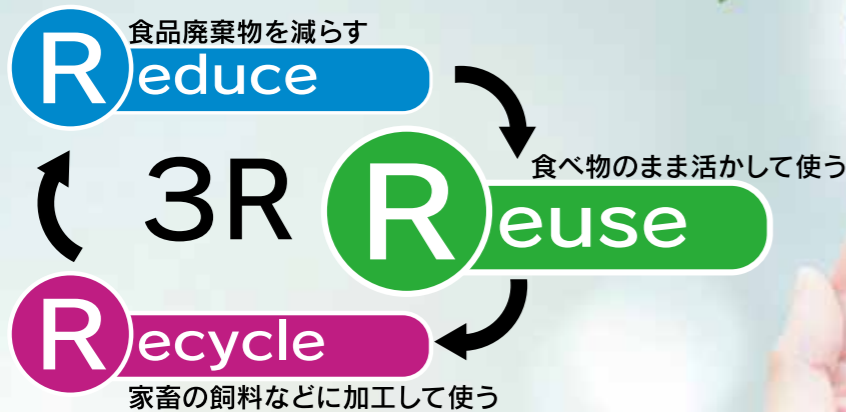




食品ロスの削減と フードバンクの活用



食品の3RでSDGs(国連 持続可能な開発目標)に貢献



フードバンク奈良について

フードバンクとは

企業や家庭などから余っている食品を提供して頂き、福祉施設や子ども食堂などを通じてそれらを必要としている人たちに無償で届け、食品ロスの削減を図るとともに、生活に困窮している人々を支援する活動のことです。

わが国では 2002 年に国内初のフードバンク団体が設立され、その後全国各地で活動が展開されています。

フードバンク奈良は

2017年に子ども食堂を運営する団体の有志が中心となって、フードバンク奈良に向けて動き出しました。

その後、食品ロス削減に取り組む環境保全団体の関係者も加わって同年12月に「フードバンク奈良」が設立されました。

そして2020年1月には特定非営利活動法人(NPO 法人)の認可を受け、事業を拡大・発展させながら、食品ロスの削減と生活困窮者支援の活動を続けています。

■フードバンク奈良団体概要■

【本部所在地】 奈良県生駒郡斑鳩町法隆寺西3丁目-1-31

【事務局・活動拠点】

■奈良県奈良市六条2丁目 17-6-11

コープふれあいセンター六条

■奈良県奈良市佐紀町 2715 番地

奈良市フードバンクセンター

【代表理事】 平川理恵

【事業概要】

- (1) フードバンク活動事業
- (2) フードバンク、食品ロスなどに関する普及啓発活動事業
- (3) フードバンクにかかわる関係機関・団体との連絡調整事業
- (4) その他目的を達成するために必要な事業



2020年度食品ロス調査結果より

フードバンク奈良では 2020 年度奈良県補助事業として「奈良県の食品企業等における食品ロスの状況調査」を行い、県内の食品関係 176 事業所(製造業、流通業)を対象にアンケート調査を実施、回答のあった 41 件のうち、約2/3の事業所で食品ロスが発生していました。

そのうち約6割の事業所では、仕入れや受発注量の調整、消費・賞味期限の長期化などの工夫で食品ロス削減に取り組まれています。残る4割の事業所では対策は取られていませんでした。

奈良県では年間約5.2万トン(全国では約570万トン)の食品ロスが発生しており、そのうち約2.4万トンが事業系の食品ロスです(※1)。対策が取られていない事業所には早急に対策を取ってもらうとともに、すでに実施している事業所

もさらなる削減の努力が求められます。

その有効な方策のひとつにフードバンクの活用があります。フードバンクは廃棄物対策の「3R」で言えば、棄てられようとするモノを形を変えずに別のところで活かして使うリユース(Reuse)に相当します。

食品ロスそのものを減らすことに努力して、それでもどうしても減らせない分はフードバンクの活用を検討してはいかがでしょうか。[※1 2019 年度推計値 農林水産省・環境省]

「奈良県の食品企業等における食品ロスの状況調査報告書」(PDFファイル)は、こちらよりダウンロードしてご覧いただけます。

<https://foodbanknara.jimdofree.com>



「つくる責任、つかう責任」

ターゲット 12-3 「2030 年までに小売・消費レベルにおける世界全体の一人当たりの食料の廃棄を半減させ、収穫後損失などの生産・サプライチェーンにおける食品ロスを減少させる。」



市民生活協同組合ならコープ様

フードバンクの創立から尽力いただいております。店頭でのフードドライブをはじめ、共同購入のキャンセル品を常時提供していただき、毎月2回の食糧提供のルートの要を確保していただいております。



吉田由香理事長

ならコープでは「一人でご飯を食べる子どもたち、温かいご飯を食べることができない子どもたち」に温かい食事とみんなで食べる居場所を提供する子ども食堂を応援してきました。

現在では、共同購入におけるキャンセル品などの余剰品や活動の拠点を提供しながら共にすすめることで、組合員が参加するフードドライブの定期開催やフードパントリーへとつながり、福祉と食品ロス削減の両面から、SDGs達成に向けた取り組みをすすめています。

■会社情報■

【所在地】 奈良市恋の窪1丁目2番2号

【代表者名】 理事長 吉田 由香

【連絡先】 0742-34-8731

【ホームページ】 <http://www.naracoop.or.jp>

さまざまなフードバンクの活用法



積水ハウス株式会社 奈良シャーメゾン営業所様

社内で定期的にフードドライブを実施されており、毎回お菓子や缶詰など、身近な食品やマスクなどの日用品を届けてくださいますので、幅広く活用させていただきます。



河野弘光所長

私たちの会社では、どのような活動が地域貢献に繋がるかを検討していました。

そのような中、奈良市役所でフードバンク活動が行われているのを目にしたことが、社内でフードドライブを実施するきっかけとなりました。社員の家庭から眠っている食品を持ち寄ったのですが、思わぬ反響がありました。事務局の facebook に寄付の様子が載りますと、社員の家族から、自分達も地域貢献に参画している実感を持たれた。との感想が寄せられたのです。私も非常にうれしく感じました。今後も継続してフードバンク活動に協力していきたいと存じます。

■会社情報■

【所在地】 奈良市二条大路南1丁目2-33 レナ新大宮ビル

【代表者名】 所長 河野 弘光

【連絡先】 0742-35-7322



光洋サーモシステム株式会社様

社内の防災備蓄物資の缶入りパンを大量に提供していただいたことをきっかけに、継続して食品提供のご提案をいただいています。こうした機械メーカー様からの支援も大変心強いです。



植田毅
総務グループ長

フードバンク奈良とのお付き合いは2年ほど前からになります。

災害備蓄食料品の入れ替え時期が近づいていたため、寄付先をネットで探していたところ奈良の地元で精力的に活動され、貢献実績も高かったのをお願いすることとなりました。

奈良市のセンターを初めて訪れた際、皆さんが温かく迎えてくださり、また懸命に働いておられる姿を見て、大変感銘を受けました。

寄付の対象品は、飲料水と缶入りパンなど種類は多くありませんが、少しでもお役に立てれば幸いです。今後は食品ロスをなくす為、積極的に協力をさせていただきます。

■会社情報■

【所在地】 奈良県天理市嘉幡町2 2 9 番地

【代表者名】 代表取締役社長 竹岡 伸高

【連絡先】 0743-64-0981 (代表) 経営管理部総務グループ 植田 毅

【ホームページ】 <http://www.koyo-thermos.co.jp/>

目からウロコの フードドライブ

仕出し料理でおなじみの「甚八」様が、お料理の配達や容器の回収時にお客さまから預かっていただいた未使用の食品をフードバンクへとつないでいただいています。従来のフードドライブとは違った視点の取り組みに注目しています。



中本和昭社長

わが社は、「フードビジネスの手法で人に纏わる社会的課題を解決する!」をミッションに、会社の拡大=社会課題解決に繋がる、ソーシャルカンパニーを目指しています。

各家庭に眠っている不用な食品を生活困窮家庭にお届けすることで食の不均衡を解消するだけでなく、焼却処分→消費に変えることで年間1兆円が投入されている税金の節約につながります。

今後は各都道府県への出店を計画しており、各地のフードバンク団体との連携を検討しています。

■会社情報■

【所在地】 奈良県奈良市四条大路5-6-29
【代表者名】 代表取締役社長 中本 和昭
【連絡先】 0742-32-3883

【HP】 <https://www.zinpachi.com/>
【SNS】 facebook 寿司・割烹 甚八
Twitter @zinpachi_nara
Instagram zinpachi_nara

今西 康乃さまより

私たちは奈良市大宮小学校区において、地域住民全体に向けて広く福祉活動をしています。

フードバンク奈良よりいただいた食品は、子ども食堂や小学生の居場所づくり事業、子育て世代に向けたつながりづくり事業に活用させていただいています。

活動が広がっていく中で、利用する子どもたちもどんどん増え、100人単位でお菓子や飲料が必要となる時などは、企業様からの数が揃った食品をいただけるため大変ありがたいと感じています。



ありがとうの声

御所市社会福祉協議会

宮本真知子さまより

御所市社会福祉協議会では、令和3年度より「食のほっと便」事業を開始し、フードバンク奈良からご提供いただいた食材を、コロナ禍で「経済的に厳しい」と相談に来られる市民の方にお渡ししています。

「子どもがいるので本当に助かります」などの感謝のお声をたくさんいただいています。

また、コミュニティサロンや療育教室で、お土産としてお渡することもあり、コミュニケーションのきっかけとして、大変役に立っています。



食べられるのに捨ててしまうのはもったいない・・・と考えておられるメーカー様
在庫を抱えておられる方、ぜひフードバンク奈良へ食品をお譲りください。

フードバンクを活用すると・・・

コストダウンに つながって 経営にプラス

■食品廃棄物となる場所をフードバンクに寄付することによって、食材を活かして使うだけでなく、**産廃費用削減**も!
■フードバンクへの食品の提供に要する費用(提供した食品の帳簿額)を、損金の額に算入できて**節税**に!

企業の 社会貢献(CSR)活動として 好感度アップ

■フードバンクの活用は食品ロス削減のひとつの方策ですが、一方で企業のCSR活動としても評価され、それは食品の提供を受けた人たちの「**ありがとう**」という感謝の言葉に集約されています。



食品寄贈に関するお問い合わせ

0742-81-3666 火・木・金10:00-16:00

foodbank.nara@gmail.com



フードバンク奈良の
情報は

